

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第1区分  
 【発行日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【公開番号】特開2012-17997(P2012-17997A)  
 【公開日】平成24年1月26日(2012.1.26)  
 【年通号数】公開・登録公報2012-004  
 【出願番号】特願2010-153828(P2010-153828)  
 【国際特許分類】

G 0 1 N 29/12 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 29/12

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月17日(2012.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

気相法により多結晶シリコンを成長させ、該多結晶シリコンを長さが $L$ (m)の多結晶シリコン棒とし、該多結晶シリコン棒を打撃して得られた打撃音の周波数分析を行い、該打撃音のピーク周波数 $f$ (Hz)を求め、 $f \geq 1471/L$ を満足する多結晶シリコン棒を選別することを特徴とする多結晶シリコン棒の製造方法。

【請求項2】

前記多結晶シリコン棒の選別基準として、前記ピーク周波数 $f$ の上限値を、 $f \geq 1471/L + 1000$ とすることを特徴とする請求項1に記載の多結晶シリコン棒の製造方法。

【請求項3】

前記選別される多結晶シリコン棒は、打撃音の波形から求めた固有周波数 $f_0$ と前記ピーク周波数 $f$ との比 $R(f_0/f)$ が $0.9 \leq R \leq 1.1$ であることを特徴とする請求項1又は2に記載の多結晶シリコン棒の製造方法。

【請求項4】

前記気相法はシーメンス法である請求項1乃至3の何れか1項に記載の多結晶シリコン棒の製造方法。